

吉野校区社会福祉協議会では、校区住民の幸せを求めて、福祉の増進に関する調査・研究並びに関係団体との連絡調整、地域福祉活動の計画と実施、地域福祉に関する啓発・広報、共同募金運動の推進などまちづくりの推進を図ることを目的として、平成18年5月に設立しました。

笑顔

No. 26

みんなで住みよいまちに
令和元年10月16日 会報発行
吉野校区社会福祉協議会
会長 稲森勝敏
制作担当：広報部



年号が令和になった5月29日（水）、令和元年度吉野校区社会福祉協議会の定期総会が吉野校区公民館で開催されました。福祉委員67名中、42名（委任状含む）出席、平成30年度事業報告・会計収支、令和元年度事業計画・会計予算等が協議され、すべて承認されました。

また、基調講話では長寿あんしん相談センター所長の山元康弘氏をお迎えして、「新しい総合事業について！」お話をいただきました。総合事業では、介護予防・生活支援サービス事業（要支援に認定された人や生活機能の低下がみられる人）また、一般介護事業の65歳以上のすべての人が利用できるように鹿児島市が支援しているとのことです。

支援に認定された人や生活機能の低下がみられる人）また、一般介護事業の65歳以上のすべての人が利用できるように鹿児島市が支援しているとのことです。

専門部会開催！ 令和元年7月22日（月）

吉野校区社協では、年2回各専門部に分かれ、地域の問題点や課題、現状把握などを語り合う部会を設け、また、有識者の方の講話をお聞きし、勉強会等を開いています。今回は、今年度5月に作成したプラン策定の冊子についての検証と、今年度の各専門部の活動について、また、吉野小学校に隣接した四枝内科医院の四枝院長先生に、特定健康診査についてと医療側から見た地域の高齢者の現状について講話をいただきました。



近年、人生100年時代と云われるようになり、それに合わせて医療も変わって来ています。20世紀は病院完結型→21世紀は地域完結型（在宅中心）に変わり、地域づくり、まちづくりと校区の果たす役割が重要になってきました。独居老人世帯も増えています。地域の中でデイサービス・デイケアの方々に助言をいただきながら、見守りを進めていくことが大事です。また、生活習慣病にならないための予防や、特定健康診査の受診を心がけて欲しい、吉野は特に受診率が低いとのお話しでした。

「吉野兵六ゆめまつり」in 吉野公園

4月28日(日)フリーマーケットに参加！

今年も皆様にたくさんのお品をお寄せ頂き誠にありがとうございます。売上金の23,730円は吉野校区の福祉活動に有効利用させていただきます。



第8回
わくわく福祉交流フェア開催
11月10日(日) 10:00~15:30
場所：かんまちあ（上町ふれあい広場）
ベルグ広場
催物：わくわくバザー・ステージ・模擬店



令和元年5月29日（水）

吉野校区社会福祉協議会定期総会開催！！



令和元年度吉野校区社協年間事業計画

4月～9月

- 4月：第14回吉野兵六ゆめまつりフリマ参加
- 5月：総会（5月29日開催）
福祉員研修／県立養護学校運動会（5月25日）
- 7月：福祉委員専門部会（7月22日開催）
- 9月：校区88歳米寿祝い
- 10月：広報紙『笑顔No.26号』の発行
(10月16日発行)



10月～3月

- 11月：会員研修
- 12月：福祉委員研修（世代間交流餅つき）
赤い羽根共同募金参加
長寿者（88歳以上）への年賀状発送
- 1月：鹿児島養護学校KAYOフェスタへの参加
七草祝（吉野小学校一年生）
- 2月：福祉委員専門部会
- 3月：広報紙『笑顔27号』発行



※毎月開催…子育てサロン
…随时開催…役員会



※今年度、都合により役員を退任される方がありましたので、改めて令和元年度の役員を紹介いたします。

会長	稻森勝敏（民生委員・児童委員）	児童福祉部長	宮竹道子（民生委員・主任児童委員）
副会長	川路喜照（吉野中央町内会会長）	// 副部長	奥山みえ子（帯迫あいご部長）
//	中津詩穂（グループホームひばり）	障害者福祉部長	永吉正昭（民生委員・児童委員）
高齢者福祉部部長	下鶴敏郎（民生委員・児童委員）	// 副部長	福吉清美（民生委員・児童委員）
//	副部長 中野睦子（民生委員・児童委員）	広報部長	永山恵子（NPO法人よしのねぎぼうず）
顧問	桑鶴 勉（有識者）	事務局	溝口由里子（校区女性部）
//	小村重範（吉野小学校校長）	監事	福森健一（帯迫町内会会長）
//	野田浩一（吉野中学校校長）	監事	吉福浩介（野呂迫町内会会長）

校区社協への助成事業

各校区社協への助成事業の新たな財源として、今年度より鹿児島市から補助金が交付されることになりました。校区の全住民の地域福祉を推進するという目的を踏まえ、校区の全世帯数を基にした基準を設けることから、各校区の助成額は市社協の算式によって得た額となります。併せて、吉野校区コミュニティ協議会からの助成金で運営することになります。

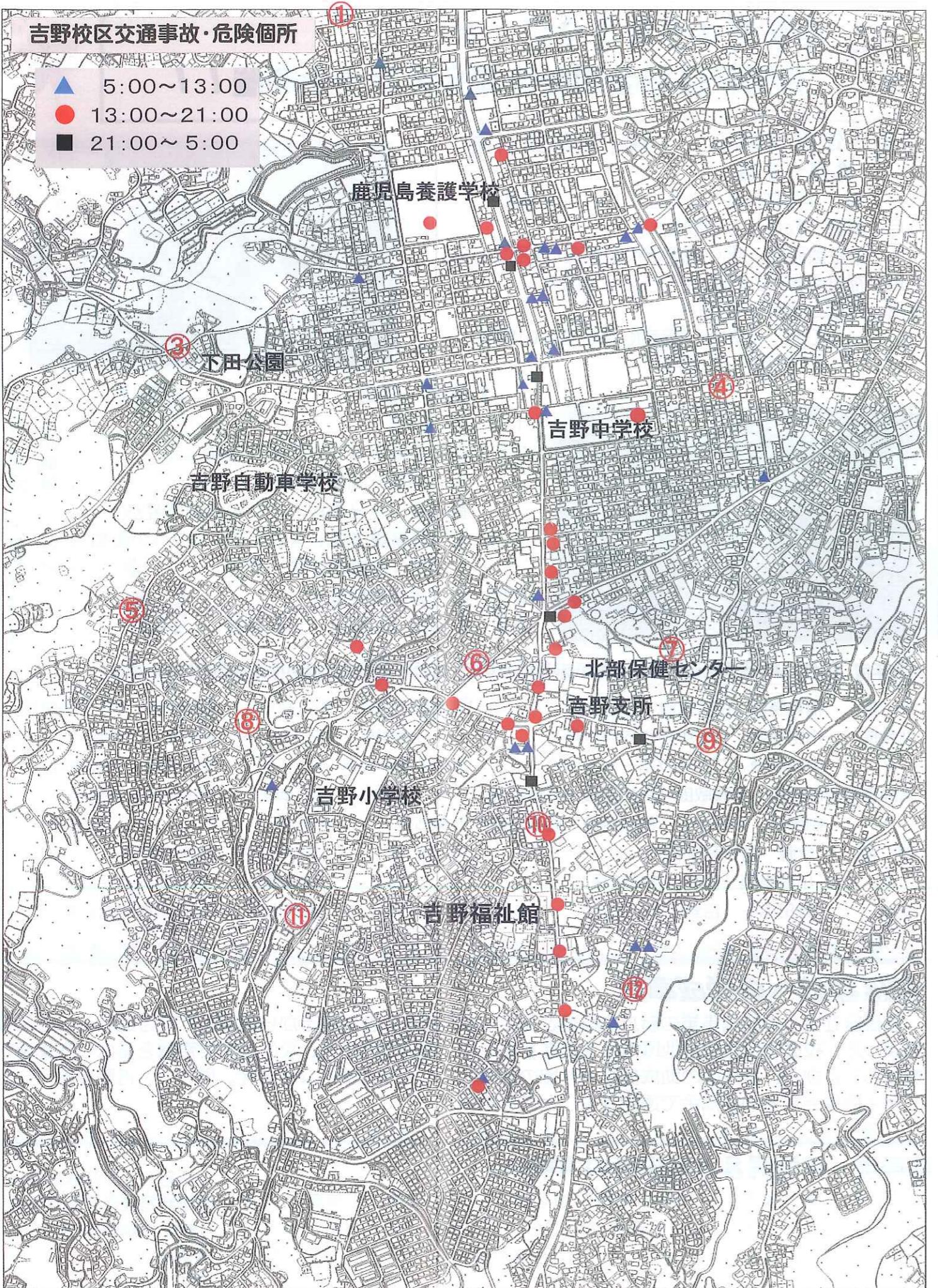
長寿祝（校区民88歳米寿のお祝い）

今年度、鹿児島市より校区の全世帯数を基にした活動活性化事業助成金が交付されたことから、今年度吉野校区で88歳の米寿を迎えた45名の方に、民生委員さんよりセンサーライトをお届けしていただきました。

※この吉野校区社協だより「笑顔」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

10月～12月まで赤い羽根共同募金運動が始まります。御協力をよろしくお願いします。





○吉野校区内の平成 28 年交通事故箇所・・・中央署交通課提供

▲ 5:00～13:00 ● 13:00～21:00 ■ 21:00～5:00

吉野交番管内の一年の交通事故件数は、およそ 900 件に上ります。吉野校区は、吉野の中心地に位置することから、交通事故が多発しています。

平成 25 年度から、鹿児島市の世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティの取組みで交通安全の部において、モデル校区として取り組みを始めました。高齢者・自動車運転者・子どもの交通安全をそれぞれの団体でも取組み、一件でも交通事故を減らしましょう。

平成 30 年 1 月 26 日に、鹿児島市市民フォーラムにおいて、日本セーフコミュニティ財団より、校区の安心安全ネットワーク会議の取組に対して、感謝状を授与しました。日本で 3 番目という栄誉ある賞に誇りを持ち、さらに、校区住民で交通安全に取り組んでまいりましょう。

- ・自動車乗車の際は、後部座席もシートベルトの着用を！
- ・通勤通学の人、バスから降りて夜帰宅する人、反射材の着用を！
- ・子供たちが自転車に乗るときは、ヘルメットの着用を！



○校区内の危険個所

吉野小学校、吉野中学校の PTA から危険個所を提示してもらい、鹿児島市安心安全推進員を中心に検証してもらいました。左図に下記の危険個所を提示します。

	危険個所・地帯	内容
①	下花棚方面一帯	街灯が少なくて暗い。道路が狭く、車がスピードを出して走行するので、通行時要注意。
②	吉野公民館から花棚に向かう道路	街灯が少なくて暗い。以前不審者を見かけた。
③	下田公園を抜け松山迫に向かう道路	街灯や人家が少なくて不安。
④	吉野中東門から西菖蒲谷に向かう道路	街灯が少なくて暗い。
⑤	野呂迫神社を過ぎ実方に向かう道路	街灯が少なくて暗い。
⑥	帶迫交差点から吉野小に向かう道	街灯が少なくて暗い。
⑦	御召覽公園の裏道	道幅が狭く特に登下校時は交通量が多く、危険。
⑧	馬場商店近くの竹やぶ道路	街灯があっても、木が生い茂り暗い。
⑨	松十文字交差点から西本願寺までの道路	道路幅が狭いところがあり、通行時危険。
⑩	錦ヶ丘保育園からTSUTAYAまでの道路	歩道が狭く、自転車が通行すると危険。
⑪	吉野小学校から元いしもと菓子工場方向に抜ける道	薄暗い。
⑫	雀ヶ宮	灯りが少なく暗い。